

ふしぎがいっぱい！ この夏、生きものと 友だちになろう！



自然の中には、まだ知らない生きもののふしぎがいっぱい。
この夏、公園や家の周りなど身近な場所で生きものたちとの出
合いを楽しんでみよう。

問合先 環境政策課 ☎ 072・620・1644

こんなにいるよ！
身近な生きものたち

市内には、森林や田んぼ、川など、生きものにとつて住みやすい場所がたくさんあり、昆虫、鳥、魚など約3000種以上の生きものが暮らしています。中にはオオサンショウウオというとても珍しい生きものもいます。たくさん生きものと出会うには、「どこにどんな種類がいるのか」知ることが大切です。上の「身近な生きものマップ」の中で見たことのある生きものはいくつかな？

水がきれいな場所を好むオオサンショウウオ



注意

オオサンショウウオを見つけたときは捕まえたり、さわったりしないでください

茨木市にいる 身近な生きもののマップ

山間部= 
市街地= 
水 辺= 

日本最大のトンボ



オニヤンマ

安威川の青い宝石



カワセミ

ジャンプ力がじまて



トノサマ
ガエル

水辺の青いパトローメ蝶



ショカラ
トンボ

恋をすると体の色が変化



オイカワ

木の上を高く舞う

ゴマダラ
チョウ

尾をふりふり送る



セグロ
セキレイ

「びっびー」と元気に歌うよ



ヌマガエル

「カナカナカナ」



山間部
ヒグラシ

「ミンミン」



山間部
ミンミンゼミ

「シャツシャツ」



市街地
クマゼミ

よく聞いてみると
ちがいが分かるね



鳴き声と場所で分かる
セミのひみつ

夏には、あちこちでセミの大会唱が聞こえます。セミは、暮らしている場所によって、種類が違うことを知っていますか。たとえば、公園や町の中ではクマゼミやアブラゼミ。自然豊かな山のほうでは、ミンミンゼミやヒグラシなどがあります。セミの鳴き声を聞き比べて、種類の違いが分かると、さらに観察が楽しくなります。

生きものの観察や調査をしている

太田さんにお聞きしました

目で形や色、動きをよく見たり、耳でどんな音がするか聞いたり、いろんな感覚を使ってじっくり観察してみよう。似たような生きものでも比べてみると、新しい発見があります。もしかししたら、図鑑にのっていない新しい生きものを見つけられるかも！



環境ボランティア
太田さん

こんな身近に？ 夏のおススメ 観察スポット

身近な公園にも、よく見るとたくさん
の生きものがかくれています。小さかっ
たり、すばやく動いたり、見つけにくいも
の、観察のコツを知れば出合えるはず。
散歩の途中に立ち止まって、周りをよく
見てみましょう。

昆虫と野鳥を1年中観察できる

▶ 西河原公園

所在地 城の前町、西河原一〜三丁目
(JR総持寺駅から約700m)
駐車場108台



フナやコイ、 野鳥に出合える！

▶ 耳原公園

所在地 耳原三丁目
(阪急バス「中河原」
バス停から約800m)
駐車場約30台

夏休みに
出かけるぞ！



野鳥の鳴き声がびびく森林

▶ 青少年野外活動センター ピクニックエリア

所在地 大字銭原115(市街地から車で約40分)
駐車場25台 利用時間9:30 ~ 16:30



小さな山で自然たんけん

▶ あさぎ里山公園

所在地 彩都あさぎ五丁目
(大阪モノレール彩都西駅から約700m)
駐車場なし



市では生きものの観察に役立つ冊子を
発行しています。ぜひ右図からご覧
ください。



生きものの発見 ガイドブック



生きもののいろいろ 探しに行こう！



教えて!! ウラワザ 生きものの 観察の裏技



⚠ 危険な生きものに注意 ⚠

さわるとかぶれたり、さされたりする生きものがいます。見つけたときはあわてずに、その場をはなれましょう。



毒を持っている:スズメバチ、マムシ、ムカデ

さわるとかぶれる植物:ウルシ類

昆虫の多くは地面の近くにいるため、しゃがんでみるなど視線を変えるだけで、発見しやすくなります。また、観察する時間を変えると、見られる生きものも変わります。たとえば、早朝には鳥が活発に鳴く様子が見られます。

森林

落ち葉の下を めくってみる

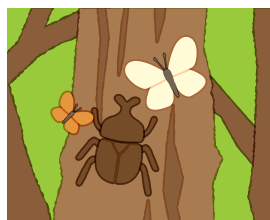
⇒幼虫などたくさんの虫がかくれています



昆虫の好物、樹液の 出ている木を探す

⇒カブトムシ、クワガタ、チョウが集まります

注意:スズメバチがいたらそばをはなれよう



草むら

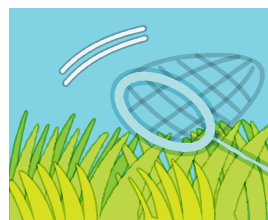
追いかけてまわさず じっと待つ

⇒トンボにはなわ張りがあり、同じ場所を飛び回ります



草の真上を 虫取りあみですくう

⇒草に付いている虫が取れます



熱中症予防も大切

夏はもちろん、春や秋でも日差しが強く熱中症になることがあります。水やお茶を忘れずに。

×NG 気を付けること

- ・生きもの、植物をむやみにとらない
- ・人の家や立ち入り禁止の場所に入らない
- ・水辺にはこどもだけで行かない



服装・持ち物

やぶや草むらの中では、草やとげでケガをしたり、かぶれたりするので、なるべく長そで、長ズボンがおすすめです。

- ・虫取りあみ、虫かご
 - ・虫メガネ
 - ・双眼鏡
 - ・虫よけスプレー
- なども持っていくと便利！

安全に観察するための お約束

≡ 生きもののワクワク催しもの ≡

～さわって・まなんで、たのしもう～

① いばらきの生きもの博

市内で見られる生きものの生体展示やパネル展示、ワークショップ。

日時 7/31(木) ～ 8/3(日)

10:00 ～ 17:00(初日は12:00から
最終日は15:00まで)

場所 おにクル1階

きたしんホール・オープンギャラリー

② 自然楽習会in大正川

川の生きものを捕まえて観察します。

日時 9/27(土)

9:00 ～ 11:00

場所 大正川(天王小学校付近)

③ 身近な公園の樹木を知ろう！

元茨木川緑地を散策しながら、身近な樹木を観察します。

日時 9/27(土)

10:00 ～ 12:00

場所 元茨木川緑地

問 環境政策課 ☎072・620・1644

②③の詳細および申込みは、広報9月号に掲載する予定です。